

第6次遠賀町総合計画前期基本計画における重点テーマ

第6次遠賀町総合計画のまちの将来像の実現のために、選択と集中の視点に立ち、この5年間で重点的に取り組むテーマを「重点テーマ」として定めました。前期基本計画5年間で重点テーマに取り組むにあたり、重点指標を定め、目標値の達成を目指します。

【本計画の重点テーマと重点指標】

01 災害に強いまちづくり

重点指標：災害による死者数 (過去5年間の累計)

基準値	目標値
0人	0人

自然災害の甚大化・多発化に備え、被害を未然に防ぐための防災対策、最小限に抑えるための減災対策にハード事業・ソフト事業の両面から取り組み、災害に強いまちづくりを目指します。

〈重点テーマ〉

- 国土強靱化へ向けた基盤整備
- 避難体制の強化
- 流域治水の推進

02 駅南開発と定住促進

重点指標：人口の社会増 (過去5年間の平均)

基準値	目標値
43人/年	50人/年

定住人口の増加が見込まれる駅南地区の開発を重点に、生活利便性の向上や町の魅力の発信、シビックプライドの醸成も併せた、相乗効果による定住促進を図ります。

〈重点テーマ〉

- 駅南開発の促進
- 駅周辺のにぎわい創出
- 定住促進と魅力発信

03 健康で誰もが活躍できるまちづくり

重点指標：一人あたり医療費 (過去5年間の平均)

基準値	目標値
389,915円	406,581円

町民が健康ではつらつと活躍できる環境づくりを進めるとともに、国民健康保険制度の安定的な運営のため、医療費の適正化に取り組むほか、住民がともに地域づくりに参画できる仕組みづくりを進めます。

〈重点テーマ〉

- 健康づくり・介護予防の推進
- 医療費の適正化
- さまざまな人の活躍と交流の場づくり

04 子どもと子育てにやさしいまちづくり

重点指標：合計特殊出生率 (過去5年間の平均)

基準値	目標値
1.60人/年	1.63人/年

少子化の改善に向け、安心して子どもを産み育てることができる環境づくりとして、きめ細かな切れ目のない支援を行っていくとともに、学力向上だけではなく、可能性を引き出す教育を目指します。

〈重点テーマ〉

- 包括的な子育て支援
- 子どもの学力向上と個性を伸ばす教育

05 行財政運営の効率化と高度化

重点指標：経常収支比率 (過去5年間の平均)

基準値	目標値
93.1%	92.7%

町財政が硬直化する中、持続可能な行財政運営を進めるため、維持管理費が増加する公共施設の統廃合を含めた総合的な管理、スマート自治体へ向けた環境整備や職員育成による行政運営の高度化を進めます。

〈重点テーマ〉

- 公共施設マネジメントの推進
- 職員の育成
- スマート自治体へ向けた検討

第6次遠賀町総合計画 町長あいさつ

深刻化する少子高齢化や人口減少、頻発する自然災害など、日本全体を取り巻く環境がより一層の厳しさを増す中、新たな感染症の世界的な流行は、人々の暮らしや経済活動を激変させました。新たな生活様式や経済活動の在り方が模索されている一方で、私たちの暮らしにデジタル化が深く浸透しつつあり、まさに今、時代の大きな転換期を迎えています。

本町においても、令和3年7月にJR遠賀川駅舎がリニューアルオープンし、引き続き新たな交流施設であるおんがみらいテラスの建設に着手したほか、駅南地区の開発が動き始めるなど、町全体が大きく変革しようとしているところです。

こうした激動する時代の潮流に乗り遅れることなく、地方自治体にとって厳しい状況を乗り越え、子どもたちに希望あふれる未来を提供できるようなまちづくりを進めていくため、令和4年度から令和13年度を計画期間とした第6次遠賀町総合計画を策定しました。計画の策定にあたっては、町民の皆さまのご意見のほか、本町が抱える課題などを考慮するとともに、日本全体の将来を見定め、目指すべき本町の将来像として「まちがつながり ひとがつながる 未来へつなぐ遠賀町」を掲げました。JR遠賀川駅を中心にまち全体がつながるような整備や取組みを進めることで、これまで本町で培われてきた町民相互のつながりをさらに深め、輝かしい未来へつないでいく——それにより、町民の皆さまが「住んでよかった」と実感し、心豊かでいきいきとした暮らしを送っていただけるようなまちづくりに全力で取り組んでまいります。

令和4年3月 古野 修

概要版



THE 6TH ONGA TOWN MASTER PLAN

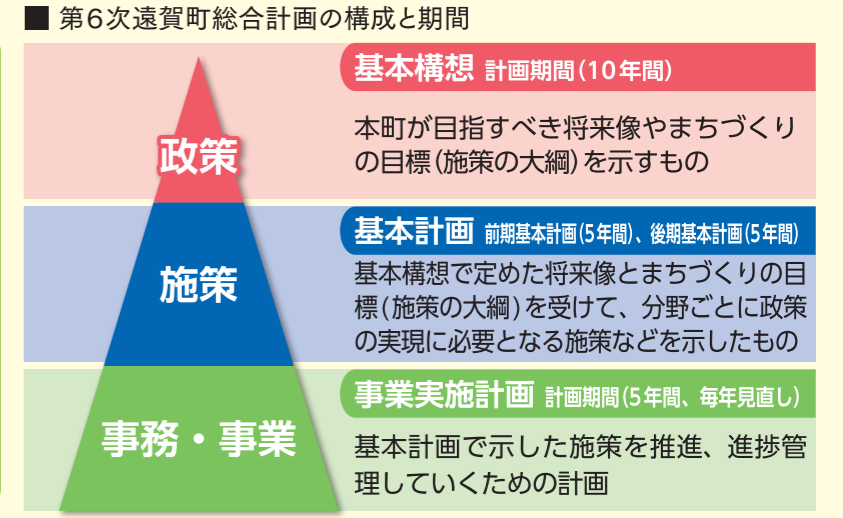
まちがつながり ひとがつながる 未来へつなぐ遠賀町

第6次遠賀町総合計画

第6次遠賀町総合計画とは

第6次遠賀町総合計画は、本町が目指す今後10年間の将来像を示し、その実現に向けたまちづくりの基本目標などを総合的かつ体系的にまとめたもので、「まちづくり」の最上位に位置づけられる計画です。

第6次遠賀町総合計画は、基本構想、基本計画、事業実施計画で構成されます。基本構想の計画期間は、令和4(2022)年度から令和13(2031)年度までの10年間とします。



人口減少時代に向けたまちづくりの指針

人口減少と少子高齢化が進む中、我が国は2040年頃に高齢者人口がピークを迎えることから、大きな転換期を迎えると言われていいます。

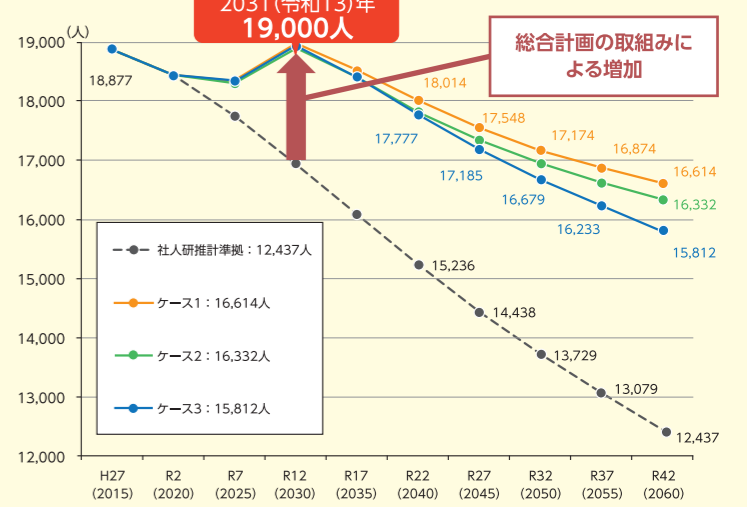
第6次遠賀町総合計画は、この人口減少時代への転換期を迎える2040年を見据え、持続可能なまちづくりに向け備えるべき方向性を視野に入れた計画として策定しました。

第6次遠賀町総合計画の将来人口フレーム

本町の総人口は平成12(2000)年の19,309人をピークに減少に転じており、国立社会保障・人口問題研究所(社人研)の人口推計においても、令和27(2045)年には15,000人を下回ると予測されています。第6次遠賀町総合計画では、居住環境の魅力向上、子育て支援など、定住を促進する施策の展開に加え、駅南開発による人口流入を見据え、令和13(2031)年の将来人口フレームを19,000人とします。



■ 現状における将来人口推計(社人研)と将来人口シミュレーション



まちの将来像

まちがつながり ひとがつながる
未来へつなぐ遠賀町

遠賀川駅周辺の開発などによってまちがつながり、それによって町内外の人々の絆やつながりがさらに深まり、そのつながりを未来へつないでいき、町が発展していく意味を込めています。

【考え方1】

人口減少社会に対応した暮らしの実現

【考え方2】

安全・安心な暮らしを確保する社会づくり

【考え方3】

新たなまちの魅力づくりによる人口定着

【考え方4】

持続可能なまちづくり

将来像を実現するための5つの基本目標と横断的目標

目標達成に向けた視点

【視点1】 地域経営の考えと経営資源の最適化による選択と集中

【視点2】 職員・組織の高度化、住民・民間との協働

基本目標

01 あらゆる人々の安全と自然あふれる暮らしを守る

〈目指すまちづくり〉

防災／安全

- 災害や犯罪など、様々な危険からあらゆる人々を守ります
- 災害に備えた基盤整備、避難体制の充実、地域防災体制の確立
 - 警察や地域と連携した防犯体制の強化

環境保全／生活環境

- 心安らぐ美しい自然と、心地よい生活環境を守ります
- 快適な生活環境の維持、豊かな自然の保全
 - 長期的な維持管理を見据えた公園の再編、下水道などの維持・更新の推進



基本目標

03 すべての人が自分らしく生きるまちをつくる

〈目指すまちづくり〉

健康／医療

- 子どもから高齢者まで、すこやかな暮らしを支えます
- 町民の健康づくりの促進、医療体制の整備や感染症予防対策の推進

子育て

- まち全体が子どもの成長をよこす、育て、あたたかく見守る環境をつくれます
- 保育環境や各種子育て支援、相談体制の充実

福祉

- すべての人で支えあい、自分らしく生きることができると目指します
- 年齢や障がいの有無にかかわらず、自分らしく生きられる地域共生社会の実現



基本目標

05 時代をしなやかに乗り越えまちを自立させる

〈目指すまちづくり〉

住民自治／共生社会

- 人と人が共生し、交わり、活躍できる地域づくりを進めます
- 性別や年齢、人種にとらわれず、価値観を認め合う共生のまちづくり
 - あらゆる人がまちづくりに参画できる協働のまちづくりの推進

行政

- 将来を見据えてしなやかに対応し、未来を切りひらく行政経営を行います
- 将来の人口減少を見据えた持続可能な行政経営
 - スマート自治体へ向けた検討や職員の育成
 - 公共施設やインフラの適正な管理の検討



基本目標

02 新たな挑戦とイノベーションを促しまちを進化させる

〈目指すまちづくり〉

産業

- 新たな挑戦と稼ぐ力を支え、力強い産業を育成します
- 先進技術を活用した農業の活性化
 - 働き方の多様化など、社会動向を見据えた起業支援や企業誘致
 - 駅周辺の開発を契機とした商店街の活性化

都市基盤

- おんがの中心からまちをイノベーションし、その活力をまち全体へ波及させます
- 駅を中心とした都市開発によるにぎわいの創出
 - 都市機能を集積し公共交通で各拠点をつなぐ「コンパクトシティ+ネットワーク」に向けた道路の維持・更新と公共交通の充実



基本目標

04 学びにあふれたまちで大人も子どもも心を育む

〈目指すまちづくり〉

学校教育

- すべての子どもの成長を支え、個性と生きる力を育みます
- 学校のICT化などの学習環境の向上、子どもの個性に応じたきめ細かな指導や支援、相談体制の充実

社会教育／文化

- 学びと文化にふれる機会を生涯にわたって提供します
- スポーツや芸術、地域の文化を含め、町民の誰もが学び続けることができる環境の提供
 - 歴史ある地域の文化や文化財の保護と交流活動の推進



横断的目標

おんがブランドを生み出し広げ愛されるまちをつくる

〈目指すまちづくり〉

魅力発信

- おんがならではの魅力を発掘し、みがき、高めて、広く発信します
- 美しい風景やおいしい農産物など、本町ならではの特徴や魅力の情報発信による交流人口や関係人口の増加

定住促進

- まちが一体となって、「おんがに住む」という選択肢を増やします
- 定住人口の増加に向けた、住みやすい暮らしの環境整備、包括的な定住促進支援策の検討と効果的なPR
 - 将来的な定住促進へ向けた、子どもを含めたシビックプライドの醸成

